

第223号
発行
奥多摩町教育委員会

○国際交流会

12月18日に3名の留学生をお招きして国際交流会を実施しました。今年は、インドネシア、マレーシア、アメリカ合衆国出身の留学生が講師を務めてくださいました。それぞれの出身国の暮らしや文化などさまざまなことについて、日本との違いなどを交えながら分かりやすく話してくださいました。

生徒は事前にそれぞれの国について、人口や言葉などの基本的なことを調べたうえで臨みました。留学の経験やこの間までの直接間接



ないとは分からないような話に触れ、興味津々で聞き入っていました。

今年には新型コロナウイルス感染症の影響により、町の海外派遣事業も、バイロンベイ高校の受け入れも中止となっていました。今回の国際交流会だけは実施することができ、とても嬉しく思います。全校で楽しく国際理解を深めることができ、貴重な時間となりました。



令和3年2月1日現在	
児童数	147名
生徒数	68名
教職員数	46名

○生徒会活動

・ユニセフ募金

12月22日から25日まで、募金活動を行いました。朝早くから、昇降口で募金を呼び掛ける生徒会役員の声が響きました。たくさんさんの生徒



たちの協力の結果、集まった金額は2万3673円。募金はすべて、ユニセフ協会に送りました。

・目安箱の設置

学校生活向上のための意見やアイデアを募集することを目的として、目安箱を設けました。全校生徒・先生で協力し、考えながら、よりよい学校生活をつくっていきます。

・生徒朝礼

3週間に1度行われる生徒朝礼は、生徒会が主体となっており、モートで実施します。生徒会活動の報告や呼びかけ、レクリエーションなど内容はバラエティ豊かで、生徒も先生も、毎回楽しみにしています。

○修学旅行に行ってきます

3月11日から13日まで、3年生は修学旅行に行ってきます。当初9月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から日程を変え、それにともない行き先も岩原スキー場に変更して実施します。

2年生のときの移動教室と同じ場所でのスキー実習と雪国体験。宿泊も同じ宿舎にお世話になります。卒業間際ということもあり、前回とは一味違った思い出ができることでしょう。

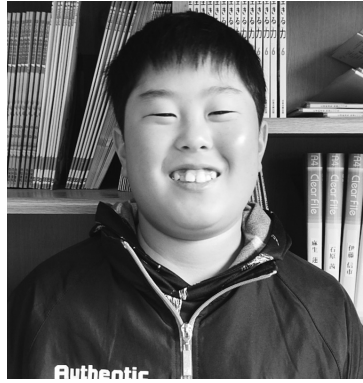
○教員研修

よりよい授業を行うために、教員相互による授業参観と協議会を行っています。①「思考ツールの活用」②「問題解決的な学習」③「ICT機器の利活用」④「協働的な課題解決」⑤「主体的・対話的で深い学び」の5つの観点で授業を観察し協議を行うことで、参観する側もされる側も、指導方法や授業改善の視点を共有し、明日からの授業に活かそうという取組です。11月下旬から始め、学年末まで継続して行います。

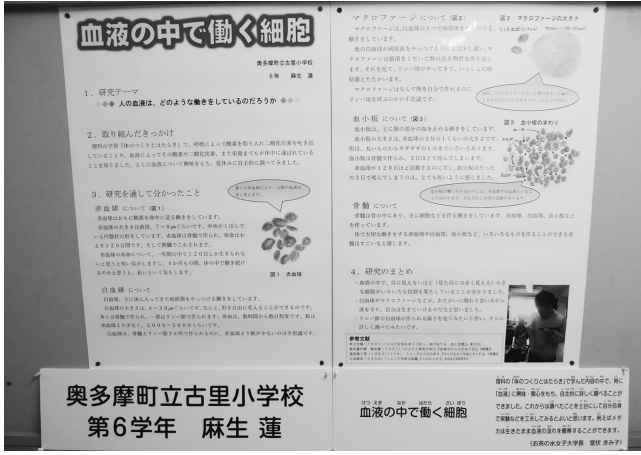
副校長 石井 淳

東京都小学生科学展

東京都小学生科学展に、古里小学校6年生の麻生蓮君が、「血液の中で働く細胞」の研究を発表しました。



古里小学校6年生 麻生蓮君



麻生君がこの研究に取り組んだきっかけは次の通りです。

理科の学習「体のつくりとはたらき」で、呼吸によって酸素を取り入れ二酸化炭素を吐き出していることや、血液によってその酸素や二酸化炭素、また栄養素までもが体中に運ばれていることを知りました。とくに血液について興味をもち、もっと調べてみたいと思いました。

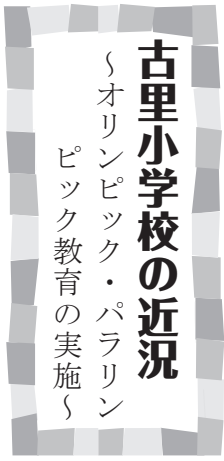
調査研究で多くのことが分かり、次のようにまとめています。

血液の中で目に見えないほど小さな細胞がいろいろな役割を果たしていることが分かりました。また、白血球やマクロファージなどが、おたがいに協力しながら体を守り、自分は生きていけるのだなと思いました。

今年度は、例年行われる日本科学未来館での発表がありませんでしたので、古里小学校職員室前に、発表パネルを展示しています。また、東京都教育委員会のホームページでも見ることができます。ぜひ、ご覧ください。

古里小学校の近況

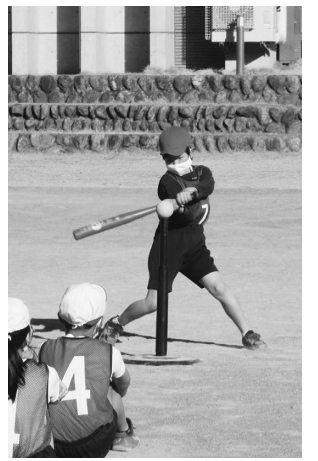
オリンピック・パラリンピック教育の実施



東京2020大会の開催に向けて、東京都内の公立学校でオリンピック・パラリンピック教育を実施しています。

「スポーツの体験・交流事業」では、これまで車いすバスケット、ブラインドサッカー、卓球、野球、ボッチャ等の競技を体験してきました。

今年度は、1月14日に3・4年生対象で、ジャイアンツ小学校訪問を実施しました。2年前に今の5・6年生も同じ野球教室を受けています。



準備運動をした後、バッティング指導で、バットへの当て方や腰の回し方を教えてもらい、すぐにティーボールの試合に入りました。

バットを確実にボールに当てる方法を教えてもらったので、みんなボールを飛ばすことができました。コーチが教えてくれたルールが分かりやすく、みんなチームの得点を数えました。ボールがやわらかい素材だったので、素手でボールをキャッチしたり投げたりできました。試合は大いに盛り上がりました。

あつという間でしたが、野球のおもしろさを体感できた1時間になりました。

感染予防対策でコーチとの握手は叶いませんでしたが、子どもたちに大きな夢を与えていただきました。

副校長 小野 愛美

氷川小学校の研究

プログラミング教育

以前の「奥多摩の教育」でもお知らせしましたが、現在氷川小学校では、“プログラミング教育”をテーマに研究を進めています。

昨年度1年間取り組んだ研究の結果、どの学年でもプログラミングの授業ができる計画を立てることができました。今年度はその計画を推進しながら、普遍化できるよう、授業に手を加えたり、修正したりしています。中でも、コンピュータを使わずに行う、アンプラグド形態のプログラミング学習は、通常の

プログラミング的思考 (簡単な言葉に)

- ①自らの意図を明確にする (目的をはっきりさせる、見直しをもつ)
- ②どのような動きが必要かを考える (動きを考える、動きに分ける)
- ③一つ一つの動きに対する命令 (記号) に置き換える (同じものをまとめる、おきかえる)
- ④どのような順序で実行させるか考える (組み合わせや順番を考える)
- ⑤どう改善すれば意図した活動に近づくか考える (振り返って改善する)

研究発表資料より、プログラミング中子どもが考えていること (プログラミング的思考)



プログラミング的思考を活用して自分の考えをまとめ、発表する

教科の学習にも活用することができるものであり、低学年のうちから取り組むようにしています。低学年は自分の身の回りの生活のことを考えるので、プログラミングの考え方で、論理的に、順序立てて考えたとスキリさせることができ、話し合い活動などがより深まるということが分かっていきます。昨年度の段階では、プログラミングをどのようにして教科の学習と結びつけるのが課題でしたが、このような実践を積み重ねることで、徐々に解決しています。

高学年は、より高度なプログラミングに取り組んでいます。すぐにうまくできるものではない分、根気強く考える力や、友達と協力し合う力も高めています。 研究主任 峯岸 覚美

氷川小学校の近況

学校内コンサート

3学期が始まり、進級・進学に向けて頑張っている様子と決意をしていた矢先に、再び緊急事態宣言が出されてしまいました。計画していた行事をやむを得ず中止にするなど、重苦しい状況が続いているのですが、子どもたちが生き生きとした教育活動ができるよう、できる限りのことに取り組んでいます。

高学年は、12月に学校内コンサートを開催しました。合唱や笛を吹くことは感染リスクが高いので禁止されている自治体が多い中、奥多摩町では対策を徹底することで実施することができました。その恵まれた環境に感謝するように、子どもたちは音楽の学習に一生懸命に取り組んでいます。意欲的に取り組んできた結果、楽器の演奏スキルの上や、歌声の美しさに磨きがかかっている様子が見られました。

しかし、音楽を発表する機会はない、次々に中止や延期になってしまし、せっかくの力を発揮する

る場がなくなっていました。これではもったいない、と考えた結果、校内でのコンサートを行うことを決定したのです。子どもたちも喜んでいました。

当日、高学年の子どもたちはやや緊張した面持ちでしたが、合唱や合奏が始まると、堂々とした様子でした。特に合唱は、本当に少人数の歌だろうかと思うほどでした。下級生の子どもたちも、まばたきを忘れるほど集中して高学年の音楽に聴き入っていました。高学年の様子を見て、強いあこがれをもったようであり、音楽の時間により一層頑張る様子が見られるようになりました。

状況は依然として厳しいのですが、異学年で磨き合うという氷川小がこれまで取り組んできたことを続けていこうと努力を重ねています。 副校長 野尻 迅人



学校式典のご案内

卒業式

古里小学校

3月25日(木) 午前9時30分

氷川小学校

3月25日(木) 午前9時45分

奥多摩中学校

3月19日(金) 午前9時30分

入学式

古里小学校

4月6日(火) 午前10時30分

氷川小学校

4月6日(火) 午前10時00分

奥多摩中学校

4月8日(木) 午前9時30分

※新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小して実施しますのをご了承ください。



放課後子ども教室

「チャレンジおくれたま」

教育委員会では、放課後子ども教室運営委員会と文化団体連盟にご協力をいただき、放課後の子どもたちの居場所作りや、伝統文化の学習及び地域の方との交流を深めるため、放課後子ども教室「チャレンジおくれたま」を実施しております。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により緊急事態宣言が発令されている期間は実施しておりませんが、感染対策を徹底したうえで実施し、大勢の小学生に参加してもらっています。



将棋教室の様子

図書館より新しい本のご紹介

一般書

今度生まれたら

内館 牧子 著 講談社

しのぶ恋 浮世七景

諸田 玲子 著 文藝春秋

境界線

中山 七里 著 NHK出版

野良犬の値段

百田 尚樹 著 幻冬舎

遺言未満、

椎名 誠 著 集英社

当確師 十二歳の革命

真山 仁 著 中央公論社

北条五代 上・下

火坂 雅志・伊藤 潤 著 朝日新聞出版

雪のなまえ

村山 由佳 著 徳間書店

今日、これ買ってきた

笠原 将弘 著 学研プラス

65歳からのふたりごはんの愉しみ

家の光協会

基本が身につくかな書道の教科書

池田書店

児童書

たぬきのおまじない

丸山 誠司 絵 絵本館

ゆきだるまとかがみもち

岡本 よしろう 絵 鈴木出版

女の子はなんでもできる!

アリー・パイ 絵 早川書房

きょうはおかねがないひ

ケイト・ミルナー 作 合同出版

みえないこいぬぼっち

ワンダ・ガアグ 作 好学社



未来を切り拓く力の基礎を育む放課後英語教室

今年度から小学校学習指導要領の全面実施に伴い、小学校3・4年生の外国語活動、小学校5・6年生の外国語科の学習が本格的に始まっています。

奥多摩町では「国際的視野の育成に努める」「誰もが学びを享受できる場をつくる」といった方針のもと、英語教育充実の一環として、平成30年度から小学校全学年を対象に放課後英語教室を開催しています。学校の授業が終わると英語ルームに直行して、英語教室が始まります。外国の絵本を読んだり、アルファベットを書いたり、楽しみながら英語に慣れ親しんでいます。

指導者紹介 酒井 理恵 先生

幼児・小学生を対象に長年にわたり町の英語教室の講師を務めていた酒井先生をお招きしています。子どもたちの英語力向上のために、教材の開発や新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた指導内容、指導方法の工夫など、多大な支援をいただいております。

酒井先生の海外生活の経験に基づき、目と耳から実用的で生きた英語に触れ、言葉の背景にある文化の多様性も知ることができると大変貴重な機会です。また、オーストラリアから来日している外国語指導助手も一緒に活動しています。



酒井先生

年度が変わりましたら、改めて英語教室への申込手続きを行いますので、多くの子どもたちのご参加をお待ちしています。



手前の机で自分が学びたい教材を選んで、教わりながら読み進めている様子

❀ 教育相談室より ❀

【簡単にできるリラックスマス法】

スクールソーシャルワーカー

八木橋 咲月

今年度は、新型コロナウイルスによって生活が大きく変化した一年となりました。生活のさまざまな場面で、それぞれができる感染対策を続けてこられたと思います。そういった中、感染予防に対して精神的に疲れを感じる「コロナ疲れ」が増えているという報道も見られます。

心配事や疲れが重なるとうるさく、不調が表れることや、気持ちが沈むこともあります。「リラクゼーション法」は、身体と心をつなげ、緊張や不安をゆるめ、気持ち落ち着かせて、リラックスした状態をつくりやすくし、心身の疲れを取る方法として知られています。ここでは、腹式呼吸を使う「10秒呼吸法」を紹介いたします。

まず姿勢を整えて手は太ももの上か、お腹に軽く当てます。背筋をまっすぐ伸ばして、ゆっ

くり息を吐きながら背中、緊張をゆるめます。目を閉じて、吸っている息を口からゆっくり吐き出していきます。吐き出せたら、「1、2、3…」とゆっくり数えながら静かに鼻から吸いましょう。自分のペースで何回か続けた後、少しずつ自然な呼吸に戻していきます。終わったら、目を開けて手をグー・チョキ・パーと動かし大きく伸びをして、力を抜いてください。時間を気にせず、自分にとって無理のないリズムでやってみましょう。

呼吸法の他にも、楽しいことをイメージしたり、ストレッチしたり、身体を温めることも、リラクゼーションした状態をつくることに効果的です。自分で簡単に試していただける方法ですので、お仕事や家事の合間に気持ちをリラックスさせる時間を取り入れていただけたらと思います。

教育相談室では、お困りになっていること、心配なことのお話を伺っています。お電話等でもお話ができますのでお気軽にご相談ください。

TEL・FAX (83) 12340

郷土奥多摩(文化財)

その20

「日原鍾乳洞」その1

文化財保護審議会委員 梶谷 義明

奥多摩駅から日原川沿いに向かうと、車で約20分程で日原集落に入り、さらに進むと程なく支流の小川谷の分岐になります。小川谷に少し入ると、谷の右手に梵天岩がそそり立ち、左手には燕岩の絶壁が迫ってきます。その少し手前に日原鍾乳洞の入口があります。



日原鍾乳洞は東京都指定天然記念物で関東随一といわれる規模を誇り、年間10万人の観光客が訪れる奥多摩のメイン観光地

のひとつです。

鎌倉時代に山岳修験者が、梵天岩や燕岩そして鍾乳洞の壮大な自然造形物に畏敬の念を抱き、霊場として天照大神(アマテラスオオミカミ)、稜威尾走命(イズノオバシリ)を主祭神とする「一石山大権現」を祀り、鍾乳洞は「一石山の御窟」と言われ、御神体として崇敬されました。鍾乳洞の対岸に建つ一石山神社の本殿は昭和24年に建立されたものです。

・石灰岩と鍾乳洞

北海道から沖縄まで日本の各地に賦存する石灰岩は、2〜3億年前、赤道付近の海底にサンゴやプランクトンの遺骸が堆積し、地殻変動で日本に移動隆起したものです。

石灰岩の主成分は炭酸カルシウムで、他はマグネシウムやケイ素で構成されています。日本で産出される石灰岩の約50%はセメントとして利用され、他には製鉄や化学原料に利用される等、日本で自給できる数少ない貴重な鉱物です。

炭酸カルシウムからなる石灰岩は、酸性溶液に溶ける化学的

性質を持っています。地表の石灰岩は二酸化炭素を含む雨水や地下水によって浸食(溶食)が始まり、石灰岩体の内部に空洞が生じます。空洞が大きくなり連結して洞窟となり、より多くの地下水が流れるようになると、周りの砂利や砂も流され、浸食が進み大規模な鍾乳洞が形成されます。日原鍾乳洞のほかにも、日本には山口県の「秋芳洞」や岩手県の「龍泉洞」などの大規模な鍾乳洞以外に、大小の鍾乳洞が観光資源として利用されています。沖縄県の「ガマ」と呼ばれる洞窟もほとんどが鍾乳洞です。

洞窟の天井から炭酸カルシウムを溶解した地下水が滴るところでは、二酸化炭素が抜けて再び炭酸カルシウムの結晶が晶出してきます。上からつららのように垂れ下がって成長するものが鍾乳石で、下から盛り上がるように成長するものが石筍、その両者が繋がると石柱と呼ばれます。鍾乳石や石筍が1cm成長するには、50〜100年かかるといわれています。

・鍾乳洞内の気象

外気温は季節によって変化し

ますが、鍾乳洞の中の気温は年間を通してほぼ一定で、その地域の年間平均気温とほぼ同じであるといわれています。日原鍾乳洞内は11℃内外と案内に書かれています。ちなみに、山口県の「秋芳洞」では約17℃のよう

です。空気は暖かいと膨張して軽くなり、冷えると重くなります。

外気温の高い夏には、洞内の冷たい空気は外の空気より重いので、冷たい風が入口より噴き出してきます。逆に冬には外の空気が冷たいので入口から吹き込んで来て、洞内には常に風の流

・日原鍾乳洞

入口から入ってすぐに感じるのは、洞内に向かって強い風が吹き込んでくることです。訪れた日は外気温5℃で洞外は無風状態でした。洞内は11℃で内外の温度差が約6℃ですが、かなり強い風が生まれていました。ぜひ体感してみてください。

【次号へ続く】